

第43回「電子機器及び電子デバイス 関連の動向」講演会

- 主 催：半導体部会／半導体調査統計専門委員会
- 会 場：ベルサール神保町 A-B room
- 参加者数：約90名

概 要

当協会（JEITA）の半導体部会／半導体調査統計専門委員会（委員長：鈴木茂・ローム）では、2009年2月5日に、ベルサール神保町 A-B roomにおいて、43回目となる「電子機器及び電子デバイス関連の動向」講演会を開催しました。講演会は、毎年2回実施しており、今回は、次の3分野の専門家をお招きしてご講演を頂きました。

最初に、三洋電機株式会社・ソーラー事業部担当部長の脇坂健一郎様から「太陽光発電の技術及び市場動向」をテーマに、太陽電池開発の歩みと現状、実用化に向けた高効率化のための太陽電池材料・加工・デバイスデザイン技術と応用技術を解説頂くとともに、太陽電池による世界的エネルギー供給システムの紹介と展望をご講演頂きました。

続いて、日本銀行・調査統計局長の門間一夫様から「日本経済の現状と展望」の演題で、混迷を深める世界経済の中、日本経済の現在の状況と、GDP、投資、雇用、金融を含む自動車や産業関連、消費動向など、調査資料に基づき、今後の産業や経済見通しなど示唆に富むご講演を頂きました。

さらに、ガートナー・ジャパン株式会社・主席アナリストの蒔田佳苗様から、「台頭する超小型モバイルPC・市場開拓のシナリオ」と題して、IT市場に登場以来、急拡大している低価格ミニノートPCについて、市場調査分析による詳細な解説と、半導体企業のミニノートブックへの課題や留意点などについてご講演を頂き、参加された多数の熱心な聴講のもとで盛会のうちに終了しました。

